



(第 454 号)

商工組合だより

平成 30 年 1 月 1 日 /

商工組合だより

第 454 号

組合員数 64 社

30年 / 新年特別号

おもな内容

- ◆年頭のごあいさつ……………1
- ◆新年のごあいさつ……………2
- ◆年頭所感……………3
- ◆広告……………4

発行

中部製紙原料商工組合

名古屋市中村区名駅三丁目25番9号
堀内ビル7階

TEL(052)581-5987 FAX(052)581-6943
<http://www.aiweb.or.jp/csg>



中部製紙原料商工組合

あけまして
おめでとう
ございます



謹んで新年のお慶びを申し上げます

公益財団法人古紙再生促進センター中部地区委員会 委員長 田口 満



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられていることと思います。日頃から中部製紙原料商工組合の皆様には古紙関係を中心に大変お世話になっておりまして、心より感謝と御礼を申し上げます。

製紙業界においては、依然として紙分野が低迷している一方、板紙分野は比較的好調を維持しています。板紙分野において、輸出が好調であり、フル生産に近い状態が続いているのも近年の特徴です。紙分野が低迷、板紙は比較的好調の傾向は少子高齢化、電子化の推進、Eコマースの進展などを考えると、構造的な要因が多く、当面続くと予想されます。

さて古紙の状況ですが、日本の古紙は、毎年海外マーケットに振り回されますが、去年は特に中国に振り回された年だったでしょう。恐らく今年も世界の古紙のマーケットは中国の環境規制強化等の影響を受け、先行きの状況を読みにくい状況が続くと予想されます。

また、古紙の最大の輸出国の米国は、板紙分野が好調で段ボール古紙の供給余力が減る一方、Eコマースの進展で、これまで大型店舗等で発生した古紙が家庭系の回収に移り、品質悪化や回収量低下の懸念が高まるなど、古紙の状況は今後も大きな変化が予想されます。去年の古紙の輸出市況は夏までは値上がり、価格も最高値圏になりましたが、その後急落するなど、大きく変動しました。今年も先が読めない海外状況が予想されますが、日本国内においては、日本国内メーカーの製紙原料の 60%以上は古紙であり、安定した価格帯が望まれます。

中部地区については、全国の古紙発生量の 1 割以上を占め、域内の会社・工場に古紙を 6 割以上供給するだけでなく、域外にも移出され、重要な古紙の集荷地域となっています。また、域内の製紙メーカーが洋紙・板紙・家庭紙等の生産を行っている地域であり、発生した古紙を域内で上手に循環している地区と言えると思います。

さて業界では古紙の有効利用に向け、2020 年度までに古紙利用率を 65%に向上させる目

標を策定しました。2017 年 1～9 月の古紙利用率は 64.1%であり、次の目標値に向け関連業界の取り組み強化が必要です。古紙の利用率向上に向けては、板紙の古紙利用率がほぼ限界であることから、新聞用紙、印刷・情報用紙向けの良質な古紙、特に雑誌古紙の確保と利用、そして国内循環システム構築、適正な価格帯が望まれます。

他方日本の古紙回収率は 2017 年 1～9 月は 81.6%でした。これは、古紙に携わる関係者の長い間の努力の積み重ねの結果と、近年は行政等による雑がみ回収増大やポイント回収など回収方法の多様化の影響が大きいと思われる。

しかしながら、古紙の回収・利用促進をするために、品質面、価格面など阻害する要因が多数あります。また今後は、中国の環境規制強化の影響から、中国向け MIX が全面輸出禁止になると、回収量減少や国内向け雑誌古紙の品質悪化などが懸念されます。今後日本での古紙回収にあたっては、排出元や行政等に初期分別の大切さ、品質の重要性を浸透させ、(公財)古紙再生促進センター中心に関係業界の連携が求められます。

中部地区においても、(公財)古紙再生促進センター中部地区委員会の東海分会、北陸分会、甲信分会とそれぞれ充実させ、需給両業界で古紙の回収・利用促進及び課題の克服に向けて取り組んで参りたいと思います。

貴組合は持ち去り撲滅対策の一環として、最初に GPS 導入を行った地域と理解しています。また、古紙の持ち去り問題は継続していますが、社会のルールに則った古紙の回収を進めて欲しいものです。

また、品質面では、段ボール古紙のロウ引き品の混入、雑誌古紙への昇華転写紙や感熱発泡紙混入によるトラブルが依然として続いています。貴組合員様には古紙の選別などご尽力を頂いておりますが、皆様方の排出元への品質指導や啓蒙活動を含めて、品質向上への取り組みを宜しくお願いいたします。

貴組合の事務所には「共存共栄」の額が飾られています。古紙の需給両業界に正に当てはまる、好きな言葉です。今後もこの言葉を頭において、古紙に関係する活動に取り組んで参りたいと思います。

最後になりますが、「紙は文化のバロメーター」、紙の良さを今一度考えていただき、貴組合の皆様方が良い年になりますよう、心より祈念致しまして新春のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感

中部製紙原料商工組合 理事長 石川 喜一郎



明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年の経済状況を振り返りますと、世界経済は拡大基調が続いており、日本の景気も持ち直しの動きがみられ緩やかな成長が続きました。

製紙業界におかれましては、国内需要が明確に減少するなか、国際市場における競争力および収益力強化に向けての価格改定など事業構造の転換に取り組まれております。

当業界におきましては、世界的にEコマースなど第三次産業が堅調に成長していることもあり、海外需要は変わらず維持されております。昨年も全国で約400万t、名古屋港からは約26万tの輸出量がございましたが、古紙の発生減少も相まって相対的に高価格帯での取引となった結果、引き締まった需給状況が続いております。

今後も古紙の発生減少が避けられない中で、組合員各社は仕入競争による消耗戦を行うよりも、顧客や社会からの要請に応えるべく変革し発展していくことが必要であります。

昨年、全原連では、紙ゴミから古紙の掘り起こしを推進し、当業界の扱い量を補い且つ製紙メーカーや地域社会に貢献する為、2020年対策特別委員会を設けました。

それを進めるにあたり注意しなければならないのが品質問題です。関係する自治体等について、古紙はゴミではなく商品である事を分かりやすく伝える手段が必要です。

また中国においても環境政策からチャイナリスクともいえるMIX古紙の輸入を禁止する規制が発表され、改めて古紙の品質を考えさせられる契機となりました。

その品質向上の対応について全原連では、日本古紙品質認定制度(J-BRAND)を推進し、古紙リサイクルアドバイザーや適格事業

所認定制度と併せて、当業界の業の質の向上を目指し、発展のために必要な施策を実施しています。組合員皆様の更なるご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

そして、(公財)古紙再生促進センターの広報宣伝事業による小学校での出前授業開催につきましては、古紙リサイクルアドバイザーの皆様にご活躍を頂いております。今年も開催回数を拡大し、より一層の若年層への啓発活動を行って参りたいと存じます。

次に古紙持ち去り問題ですが、GPS追跡調査開始から5年が経過し、持ち去り流通ルートを解明し、買入れ事業者名を公表したものの法的な壁もあり根絶には至っておりません。引き続き解決に向け努力して参る所存であります。皆様方のより一層のご鞭撻ご協力の程、お願い申し上げます。

最後となりましたが、本年も皆様のますますのご発展、ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



<p>中芯原紙・印刷用紙製造</p>  <p>株式会社 エコペーパー JP</p> <p>代表取締役社長 葛西宏治</p> <p>〒488-0031 愛知県尾張旭市晴丘町東82番地1 TEL (0561) 53-3315 FAX (0561) 53-3362 http://www.ecopaper.jp/</p>	<p>段ボール原紙・白板紙・包装用紙</p>  <p>王子マテリア株式会社</p> <p>本社 東京都中央区銀座5-12-8 王子ホールディングス1号館6階 〒104-0061 TEL (03) 3543-1111 代表取締役社長 小関良樹</p> <p>祖父江工場 愛知県稲沢市祖父江町祖父江外平150 〒495-8601 TEL (0587) 97-2111 中津川工場 岐阜県中津川市小川町2-3 〒508-8585 TEL (0573) 66-1511 恵那工場 岐阜県恵那市大井町696 〒509-7201 TEL (0573) 26-1611</p>	<p>出版・印刷用紙 事務用紙 包装用紙</p>  <p>王子製紙株式会社 春日井工場</p> <p>専務取締役工場長 石田浩一</p> <p>愛知県春日井市王子町1 〒486-0834 TEL (0568) 81-1111 FAX (0568) 85-2056 http://www.ojipaper.co.jp/</p>
---	---	--

 <p>織維リサイクルメーカー</p> <p>株式会社 大綿</p> <p>〒496-0905 愛知県愛西市北一色町 東田面231番地 TEL (0567) 25-3700 FAX (0567) 25-3577</p>	<p style="text-align: center;">衣類リサイクル</p> <p style="text-align: center;">株式会社 鈴六</p> <p>代表取締役 鈴木信高</p> <p>(東名・岡崎インター出口すぐ南) 〒444-0007 岡崎市大平町堤下73-1 TEL (0564) 21-5305 (代表) FAX (0564) 21-5474</p>	<p>工業用ウエス製造販売 繊維原料/工業用資材 反毛原料/梱包資材/</p>  <p>株式会社 ニッタ</p> <p>〒480-0105 愛知県丹羽郡扶桑町南山名野田浦48 TEL (0587) 93-2995 (代) FAX (0587) 93-9700</p>
---	---	---

<p>ベラー用古紙結束線</p> <p style="font-size: 2em;">古紙結び</p> <p>株式会社 林商店</p> <p>TEL 052(352)0884 FAX 052(353)0888</p>	<p>渡辺式大型高速古紙梱包機</p> <p style="font-size: 1.5em;">渡辺鉄工株式会社</p> <p>本社及工場 〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎二丁目25番25号 TEL (0942) 43-9111 (代) 東京営業所 〒333-0823 川口市大字石神695 TEL (048) 290-4851 大阪営業所 〒570-0016 守口市大日東町27-7 TEL (06) 6902-2338 名古屋営業所 〒452-0801 名古屋市区清里町130番地 TEL (052) 505-0411</p>
---	--

<p style="text-align: center;">古紙圧縮梱包機</p>  <p>50年の実績と経験</p> <p style="font-size: 1.5em;">株式会社 昭和</p> <p>〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-23-21 TEL (03) 3689-0303 FAX (03) 3689-0318 http://www.showa-press.co.jp 東京・大阪・名古屋・福岡・三島・浦安・八街・徳山</p>	<p>各種コンベヤ・省力機械の創造をします</p>  <p style="font-size: 1.5em;">株式会社 拓己技研</p> <p>〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3 TEL (0564) 64-3692 (代) FAX (0564) 64-3693 E-mail: takumi-cv@leaf.ocn.ne.jp</p>
---	--